

群馬菱の実会だより

「がんばってます・がんばりました」特集号

本号は、全員に
配付しています。

がんばりました!

日展入選までの道のり

神谷昭美

あらすじ:

- 会社を退任する2年前(1991年=平成13年)から東京新聞日曜油絵塾にて油絵の勉強を開始。
- 退任と同時に(1993年)に示現会絵画研究所へ入会し写実油絵の勉強を開始。
- 97年～2000年まで台湾で仕事のため示現会は中断。独学勉強を継続。
- 2000年10月に帰国後、01年から示現会展へ出展開始。同時に日展入選をも狙う。
- 2004年(平成16年)第36回日展へ初応募し落選。以後途中放棄も含め、2011年(平成22年)までに7回連続落選。
- 2004年示現会会友に推される。 ○ 2004年日展落選作品を東京都展へ出品し特選を獲得。
- 2008年示現会展において佳作を獲得。(中電へ寄贈) ○ 2009年示現会準会員に推される。
- 2011年示現会展に於いて「画室のモデル」が示現会奨励賞を獲得。(馬電へ寄贈)
- 2011年第43回日展に応募した「ポーズの合間」が日展初入選。26室中第8室に陳列される。
(本社へ寄贈)



第43回日展(2011)

ポーズの合間 神谷昭美

本紙を菱の実ホームページでご覧のnet読者の方は、左のURLをクリックすると、別の頁が開き、大きいサイズでご覧頂けます。ぜひホームページでご鑑賞下さい。

<http://www.18.ocn.ne.jp/~hishimig/kamiya-niten.htm>

あらすじに書きましたように、油絵の勉強を始めてから丁度20年目にしてやっと日展入選を果たすことになります。油絵絵描きにとって「日展」入選は 登龍門でもあり憧れの的なんです。私が所属する社団法人「示現会」は 油絵研究団体の一つで、ほかにももっとも大きな団体「白日会」「光風会」など100を超える団体がありますが、ほとんどすべての団体が 自分の所属団体から何人の「日展入選者」を出すかを競っておるのです。(中にはアンチ日展の団体もあると聞いてはおりますが)

ですから、毎年日展が近づくと 各団体ともに「日展研究会」などと称して所属団体メンバーの応募作品の下見会を催して、夫々の会の会長はじめ長老の先輩画家が集まり 後輩の作品について評論、助言を行い「日展入選率」を高めるように努力をしております。

しかし、こうした努力にも拘らず 入選者数を増加させることはなかなか困難なことで、今年は何人入ったか、誰が落ちたのかなどとうわさをし合うのが通例です。

私も平成16年から日展へ応募を始めましたが 22年までは連続落選で、ほとんど応募するのがいやになることもありました。しかし、気を取り直し、先輩の失敗回数なども聞かされて駄馬に鞭打ち、とうとう8回目の挑戦までたどり着き、8回目になると夢に見た「日展」初入選を手に入れることが出来たのです。ほんとに嬉しいと思っております。

<次ページへ>

3、4回落選をすると、「審査員が俺の作風とは合わないのだ」「審査員を沢山だす会に所属する人ばかりが入選するんだ」「日展に所属しない有名な作家も沢山いるよ。日展ばかりが絵描きではないよ」などと言って「日展」を諦める人が多いのです。

私の周りにも「日展などへ応募するための費用などは金をどぶへ捨てるようなものだから俺は応募しないよ」などと言って日展へは応募しない人も沢山おります。私の周りで日展を捨てた人で大成した人を知りません。やっぱり臥薪嘗胆、己の怠け心に勝ち努力を積んだ人が 勝利の美酒を手に入れるのだと信じております。

人間の4期 即ち「学生期」「家住期」「林住期」「遊行期」のうち「家住期」に於いては わき目も振らず仕事をし、生活の糧を懸命に稼ぎ、家族を養いました。家族が独立し己も年をとり 現役を離れて「林住期」へ移って20年、「林住期」に於ける己の峠であると目標を定めた「日展入選」にやっと今、たどり着くことが出来たのだと言う達成感に浸っております。

「日展入選」などは大した峠ではないかも知れませんが、人それぞれにその人の人生にとって峠の高低はありましようから、己が満足すればそれで幸せであると思っております。

日展入選作「ポーズの合間」は三菱電機本社へ寄贈しました。この絵に先立って示現会奨励賞を貰った「画室のモデル」は 既に私の心の故郷「馬電」へ寄贈してあります。5年前に「中電」に寄贈した示現会展佳作作品の「椅子に凭れる」と併せ、3つの作品が 私一生の恩義ある働き場所の 三菱電機の関係場所で、安住の場所を得たことを心の底から嬉しく感謝いたしております。

もう一つ場所「MHK」へ来年にでも寄贈にふさわしい作品が出来て、しかもMHKが受け入れてくれるのならば是非寄贈をしたいものと思っております。

東京白山翁 神谷昭美

<馬電に寄贈された、示現会奨励賞作品「画室のモデル」は、馬電正面玄関に設置されました>

がんばってます！

上毛新聞(平成 23 年 10 月 31 日)

對比地誠二郎さん(82) 太田市中根町

▲▲151
元気
が
いちばん

自宅で月3回、土曜日に書道教室を開いており、地元の小学生から80歳代の女性まで30人が通う。元気の秘訣は「年寄り

「年寄りぶらず、常に気持ちは若く」と、元気の秘訣を話す對比地さん



ついひじ・せいじろう 1929年、埼玉県深谷市生まれ。20年前から自宅で書道教室「誠会」を主宰。太田市宝泉南小の校章もデザインした。

書道や俳句で刺激

「四十の手習い」で書道を始め、会社勤めをしながら10年かけて師範の資格を取った。定年後は

「霞洞」の雅号で俳句も詠む。多彩な趣味を持ち、体を動かし、外に出て刺激を受けながら日々

「四十分歩い」で尾島町の三菱電機群馬製作所に勤めた。

軍が引き揚げた後は、旧

尾島町の三菱電機群馬製作所に勤めた。

令官の運転手をした。米

飛行機に就職。飛行機の

脚や翼の結合金具作りに

携わった。戦後は米軍の

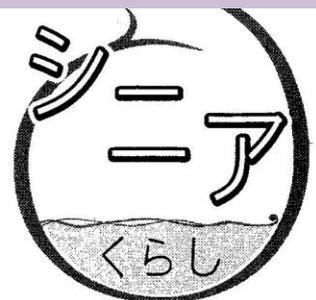
尾島キャンプで働き、司

令官の運転手をした。米

飛行機に就職。飛行機の

脚や翼の結合金具作りに

携わった。戦後は米軍の



パソコンを使う機会が増え、筆で文章を書く機会は減ったが、「書は日本の文化。元気なうちはしっかり伝えていきたい」と笑顔で話す。百薬の長の晩酌は焼酎なら1合、日本酒なら1合半にとどめている。

おろそかせずに、きちんと書くことを教えている

くらす

がんばってます！

シニア東北オープン大会70歳以上の部に準優勝

福田 興司

リタイヤ後、第2の人生を如何に過ごそうか？ 試行錯誤した結果を11年経た現時点で振り返ってみた。

1. ゴルフ：現役時代に考えていたことは、リタイヤしたら毎日が日曜日なので、いつでも練習が出来て月例会にも出られると思っていたが、1年間トライして腕も上がらなかったの、きっぱり諦めた、ゴルフは忙しい合間を縫ってやるほうが面白いと気付いた。
2. 海外旅行：バックパッカーとして、30カ国位回って見聞を広めたが、数回トラブルに遭い、今は見合わせている。
3. 放送大学入学：テレビや前橋学習センターで3年間学習、半分くらい単位を取ったが、興味を失い断念。
4. テニス：現役時代も真似事程度にやっていたが、ゴルフをやめた後テニスクラブに加入して基礎から始めた、ねりんピック群馬大会に、石尾延也氏とペアーを組み初出場、強豪を破り初優勝、これを契機にのめり込み週4日の猛練習、メタボも解消。また、シニア全国大会にも出場し5勝1敗、しかし準決勝進出直前に惜敗。H23年10月仙台市で開催された第14回シニア東北オープン大会70歳以上の部に、桐生市の柳原武夫氏とペアーで出場、準優勝(上の写真)
5. これから：小中学生にもテニスのアドバイスが出来るよう精進したい。身体を酷使して、ぴんぴんころり狙いです。



がんばりました！

ボランティア楽団の晴れ舞台

篠崎 辰夫

いつもは、お年寄りの施設慰問や地域の行事に参加して演奏活動をしているが、突然、市の音楽祭に出場してみないかという話が持ち上がった。寄せ集めの楽団で、とても音楽祭というレベルではない。それに大ホールの大舞台。不安いっぱいだったが、メンバーの中に熱心な人がいて結局その人に引っ張られた。音楽祭まで半年、猛練習が始まった。見た目も大事と、お揃いの「ハッピー」も新調した。ところが、本番近くなってメンバーの一人がストレスからかずっと微熱と下痢が続いて体調絶不調。練習も十分出来ず一時は出場が危ぶまれた。それでも前日の会場リハーサルで、心配していた音響と、5分以内の機材セッティングをクリアし、なんとかやれる自信を得た。しかし一人の体調不良はまだ続いていた。

平成23年11月3日。文化の日。「第6回熊谷市妻沼音楽祭」。妻沼中央公民館大ホール。出場は18組。1組の持時間は15分。・・・いよいよ出番。機材のセッティングで弾んだ息を整える間もなく、すぐ演奏。会場の人たちも一緒に歌ってくれている。いいムードだ。係の「あと5分」という合図も気がつかないままあっという間に演奏は終わった。そのあと一人は、舞台の袖に倒れ込んだ。・・・良くがんばりました。



ちなみに演奏曲目は
「星の世界」
「北上夜曲」
「南国の夜」
「瀬戸の花嫁」
「雪が降る」の5曲

NETでご覧の方は、写真下のURLをクリックするとYouTube動画が開きます。まだまだ拙い、恥ずかしい演奏ですが、もしよかったらご覧下さい。

<http://www.youtube.com/embed/D-Bxe2FWjuc>

◇ おしらせ ◇

	日時	場所	申込み、その他
2月の囲碁愛好会	2月13日(月) 9:30~	赤城倶楽部	ご自由にご参加ください
2月の麻雀愛好会	2月9(木)24(金) 9:30~17:00	赤城倶楽部 会費 1000円	申込み 2/7日、22日まで 荒井昭三(0276-52-0803) 小林昌樹(0276-38-0964)
2月の将棋愛好会	2月20日(月) 9:30~	赤城倶楽部 (会費:無料)	ご自由にご参加ください
第66回 冬季グラウンドゴルフ大会	2月20日(月) 9:30(集合9:15)	利根G/G場 (会費:500円)	申込み.2月16日(木) 高橋勝美(0276-52-0398) (雨天の場合、翌月開催)
第55回ゴルフ愛好会	4月10日の予定	上武ゴルフ場	川口(56-2678)関根(31-8410) 長谷川(0270-74-2056) 竹沢 宏(52-2271)
第8回カラオケ大会	3月5日(月) 17:30~20:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 2月28日まで 大橋 浩(0276-52-3866) 江川八郎(0276-52-1886)
3月のパソコンサークル	3月5日(月) 13:30~14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
3月の幹事会	3月5日(月)15:00~	労組会議室	
2月の編集委員会	2月20(月) 13:30~	労組会議室	

訃報

小原 利通 さん (享年85歳) 太田市由良町

1月16日ご逝去されました。ご冥福をお祈りすると共にお知らせします



~3/30(金)まで
春の社内販売セール実施中!
新生活の季節! お得な商品も続々登場!
節電しながら快適な生活をご提案いたします!
三菱電機ライフサービス(株) 群馬支店
ご相談・お申込は0276-52-4669 (担当: 高柳・境野・大林・渡辺) まで

編集後記

今年も早いものでもう1ヶ月が経ちました。昨年末、毎年遊びで購入している「年末ジャンボ宝くじ」を例外なくまた購入しましたが見事ハズレました。ある新聞記事で見ましたが、1000万円以上の当選者だけに或る小冊子が渡されるそうです。題名は「その日から読む本＝突然の幸運に戸惑わない為に」という本で、一般には販売されていないものらしい。

内容は不詳ですが中身の一こまには「以前とかけ離れた言動を取ればマイナスの結果につながる」との事が書かれているようだ。今回もハズレてこの心配は私には無さそうですが、今年はせめて世の中が昨年のようなマイナスの最悪な1年にならないように祈念したいものです。(二宮)

発行 2012-2-1 No. 226

発行責任者 境野 賢治

●編集: 「菱の実会だより」編集委員会 ●事務局 三菱電機労働組合群馬支部内

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207